ルシャ川の取扱いについて

<5/28 の検討会で示された方向性>

- ① ダムの改良については多少意見の相違はあるかもしれないが、できれば堤体をすべて 下まで切り落とす。いわば水制的な形にするのが将来的なメンテナンスや間隙の流れも 含め復元できるのではないか。どの幅に切るかについては、今後煮詰めていく。
- ② <u>築堤についてはなんらかの形で撤去する方向を考えていただきたい。</u> それによりもう少し違う水の流れ方ができるだろうということ。
- ③ 右岸側にある湧水についてはプール状になっており、この湧水が上手く遡上したサケ が利用できる可能性も含めてなんらかの形でもう一度復元したい。なお、<u>方法について</u> は切るだけが一つの方法なのか、穴を空けるような議論はあるかもしれない。
- ④ 最下流部の現状について、<u>他の部分がある程度決まった段階で下流域についての河道</u> の形状に少し手を加えたほうがいいのではないか。

〈5/28の検討会で示された方向性に対する対応方法〉

① 改良案2のとおり、堤体をダムの基礎部まで切り下げることとしたい。 幅については、右岸側林帯を守る幅とし、直線的に切るのではなく交互に切ってゆくこととしたい。

治山課の改良案として、改良に当たっては、地元漁業関係者からの要望のとおり、上 流側から段階的に改良を進め、1基改良後にモニタリング調査を行い効果検証の後、次 のダム改良へ進むこととしたい。

- ② 築堤については現地踏査の結果、撤去すると右岸側の林帯(土砂流出防備保安林 S49.10.8 指定)を保護できなくなることから、撤去は行わないこととしたい。
- ③ 現地調査の結果、3基のダムの右岸側の壁には、ふ化場(H24 撤去)に水を引き込む ための穴が開いており、渓流生態系の生物多様性の保全・創出(復元)が期待できるこ とから土砂等で詰まっているものを取り除くこととしたい。 (施工の際には、濁水の発生も考えられる。)
- ④ 最下流部の河道形状の変更については、段階的にダムを改良した後、下流域の状況を 見て判断することとしたい。(最下流の橋・道路の取扱も)

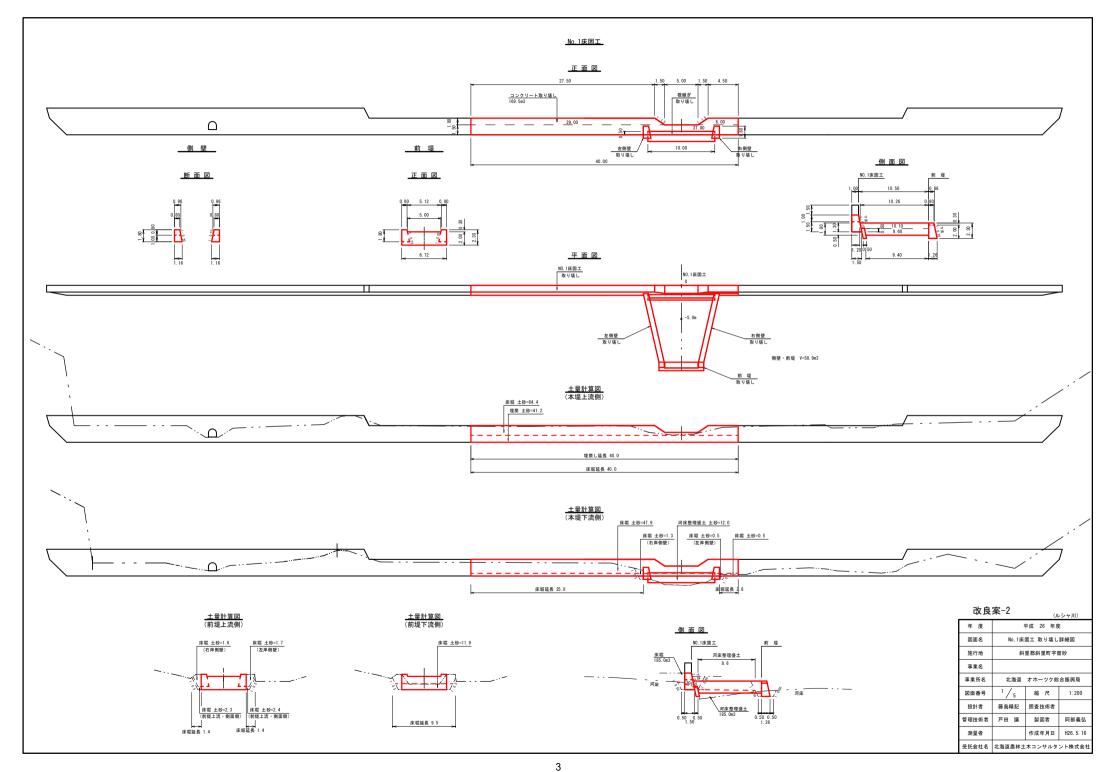
1. 改良内容について

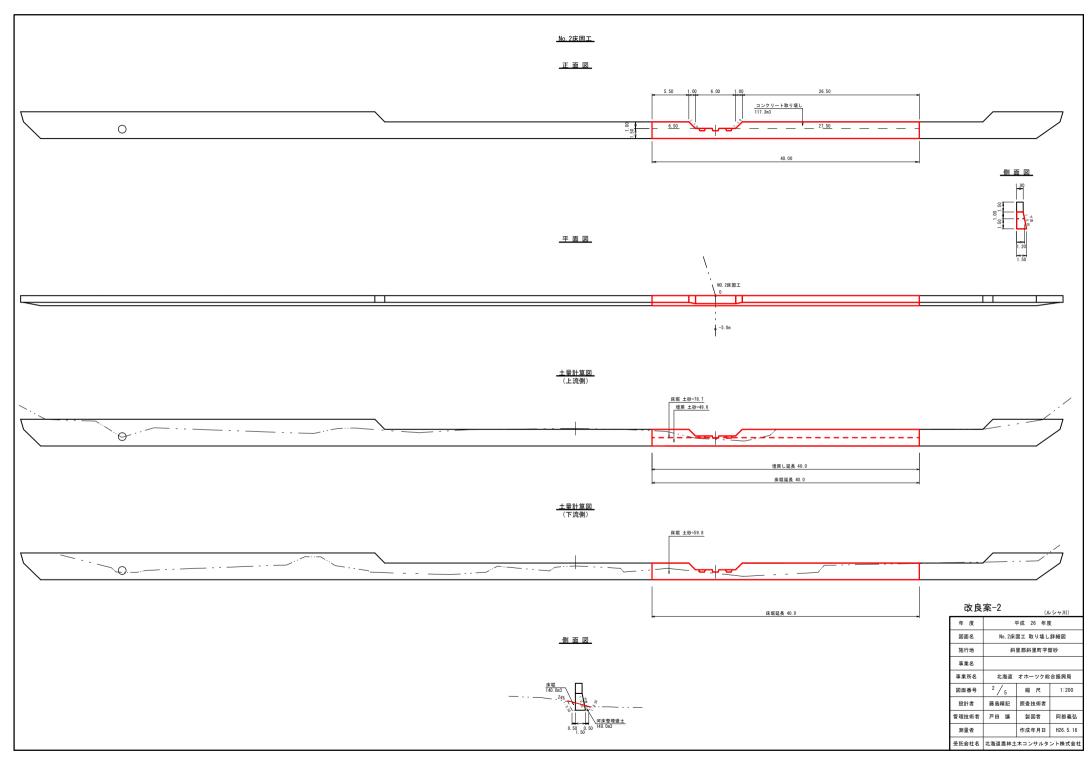
(2)改良案2※ 右岸側林帯を守れる幅で堤体をダムの基礎部まで切り下げる。

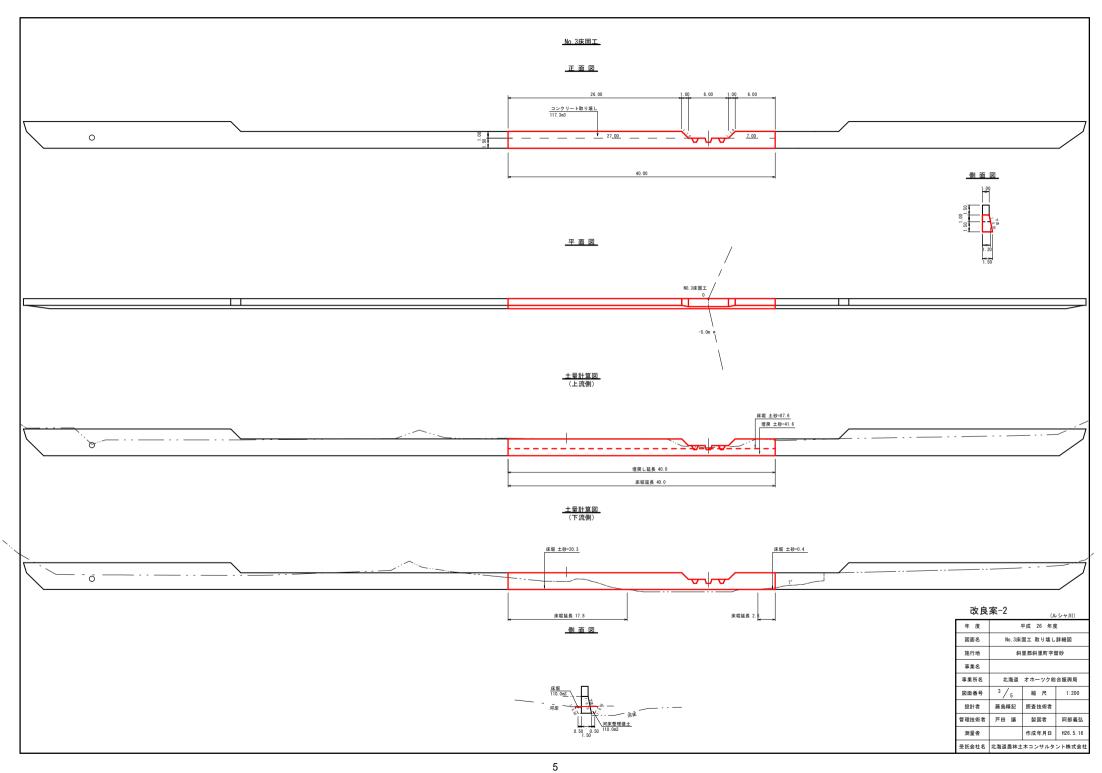
2. 試算表

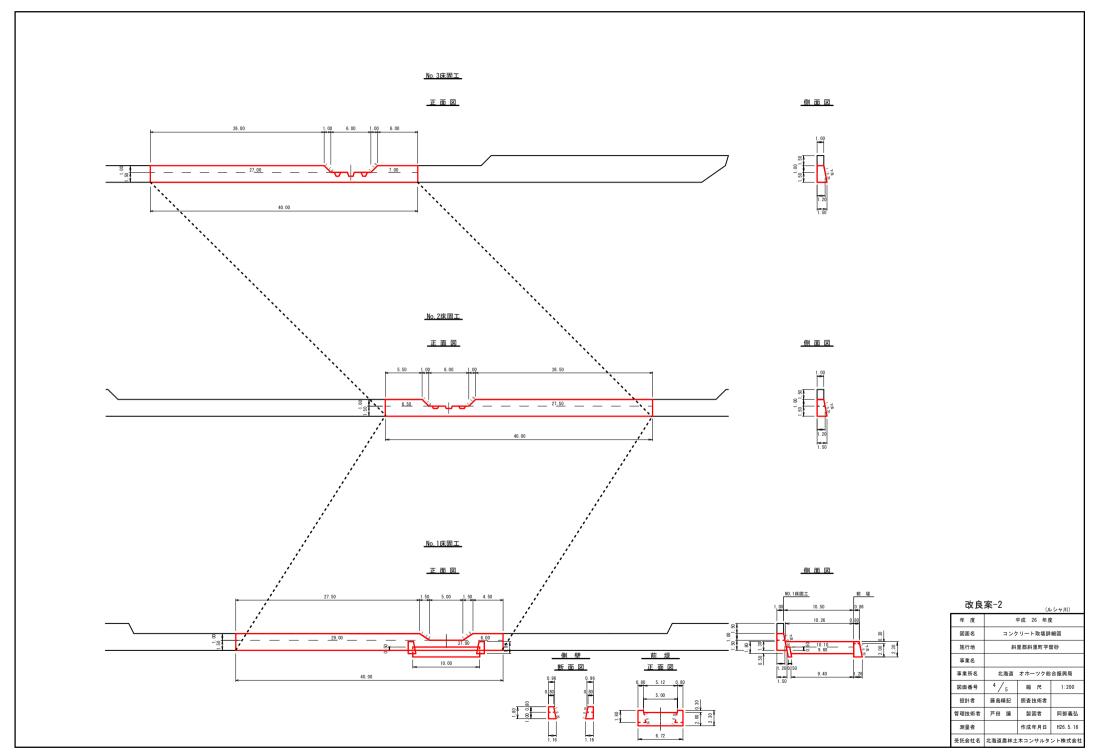
2. 武昇衣	名称	種別	規格寸法	単価(円)	改良案2※							
区分					No.1床固工			No.2床固工		No.3床固工		
					数量	単位	金額(千円)	数量 単位	金額(千円)	数量単位	金額(千円)	
床固工(改良)	コンクリート取り壊し	コンクリートブレーカ		6,000	169.5	m3	1,017	117.3 m3	703	117.3 m3	703	
	床堀(バックホウ掘削)		0.80(0.60)m3	300	185.0	m3	55	140.0 m3	42	110.0 m3	33	
	河床整理盛土		タンパ転圧無し	300	185.0	m3	55	140.0 m3	42	110.0 m3	33	
	コンクリート受用足場			10,000	108.0		1,080	96.0 m	960	84.0 m	840	
	コンクリート塊運搬	10tダンプ		20,000	169.5		3,390	117.3 m3	2,346	117.3 m3	2,346	
	産業廃棄物処理費	無筋コンクリート		1,500	389.9		584	269.8 t	404	269.8 t	404	
				小計		6,181	小計	4,497	小計	4,359		
仮設工	敷鉄板敷設∙撤去		仮設道	300	195.0		58	138.0 m2	41	60.0 m2	18	
	敷鉄板賃料	2ヶ月	仮設道	500	390.0	m2•月	195	276.0 m2• J		120.0 m2•月	60	
	大型土のう	設置•撤去	バックホウによる据付	2,000	63.0		126	58.0 袋	116	80.0 袋	160	
	大型土のう	敷設替	バックホウによる据付	2,000	38.0	袋	76	41.0 袋	82	37.0 袋	74	
	大型土のう	作成・搬入・搬出		35,000	63.0	袋	2,205	58.0 袋	2,030	80.0 袋	2,800	
	水替費(作業時排水)			9,000	30.0		270	30.0 日	270	30.0 日	270	
	ポンプ据付撤去			55,000		箇所	55	1.0 箇所	55	1.0 箇所	55	
				小計		2,985	小計	2,732	小計	3,437		
事業損失防止施設	鋼板製簡易水槽			120,000	1.0		120	1.0 基	120	1.0 基	120	
	敷鉄板敷設・撤去		現場事務所等	300	216.0		64	216.0 m2	64	216.0 m2	64	
	敷鉄板賃料	2ヶ月	現場事務所等	500		m2•月	216	432.0 m2 F		432.0 m2·月	216	
					小計		400	小計	400	小計	400	
運搬費	仮設材等の積み込み			3,000	99.1		297	86.2 t	258	69.5 t	208	
	鋼材輸送運賃			5,000	99.1		495	86.2 t	431	69.5 t	347	
					小計		792	小計	689	小計	555	
安全費	電気牧柵	ヒグマ用		1,000	439.7		439	514.9 m	514	661.2 m	661	
	人力杭打	1本/10m	杭長1.2m	500	44.0		22	52.0 本	26	67.0 本	33	
	ハンター	1組2人		25,000	60.0		1,500	60.0 人	1,500	60.0 人	1,500	
	ヒグマ見張員	上流·下流		8,000		円/人	480	60.0 円/人	480	60.0 円/人	480	
	安全訓練講師派遣料			35,000	1.0		35	1.0 人	35	1.0 人	35	
	雨量計設置			55,000	1.0		55	1.0 基	55	1.0 基	55	
					小言		2,531	小計	2,610	小計	2,764	
					合計		12,889	合計	10,928	合計	11,515	
					現場管理		10,111	現場管理費等	-	現場管理費等	8,485	
					本工事	費	23,000	本工事費	19,000	本工事費	20,000	
合計						62,000千円						

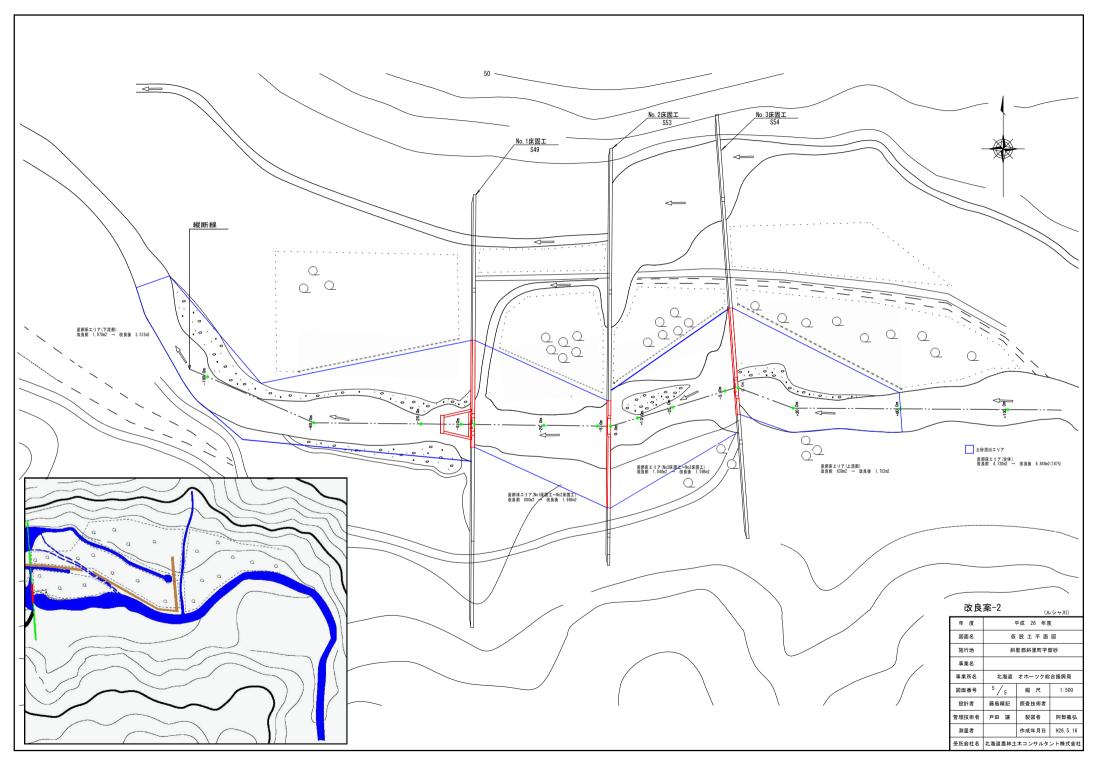
[※]改良案1については、5月28日開催の河川工作物アドバイザー会議検討会で提示したが、方向性が改良案2となったので、記載は省略した。

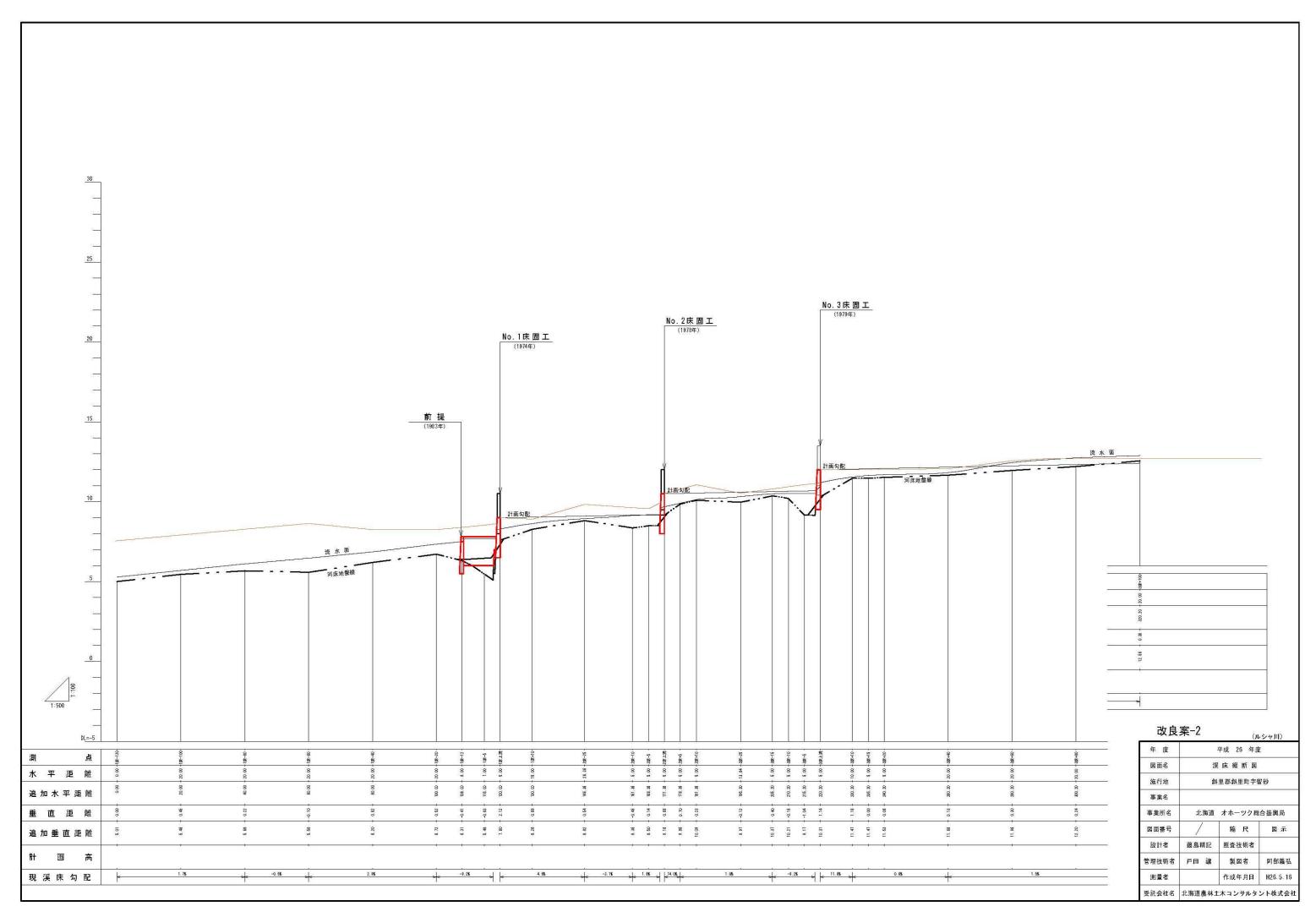


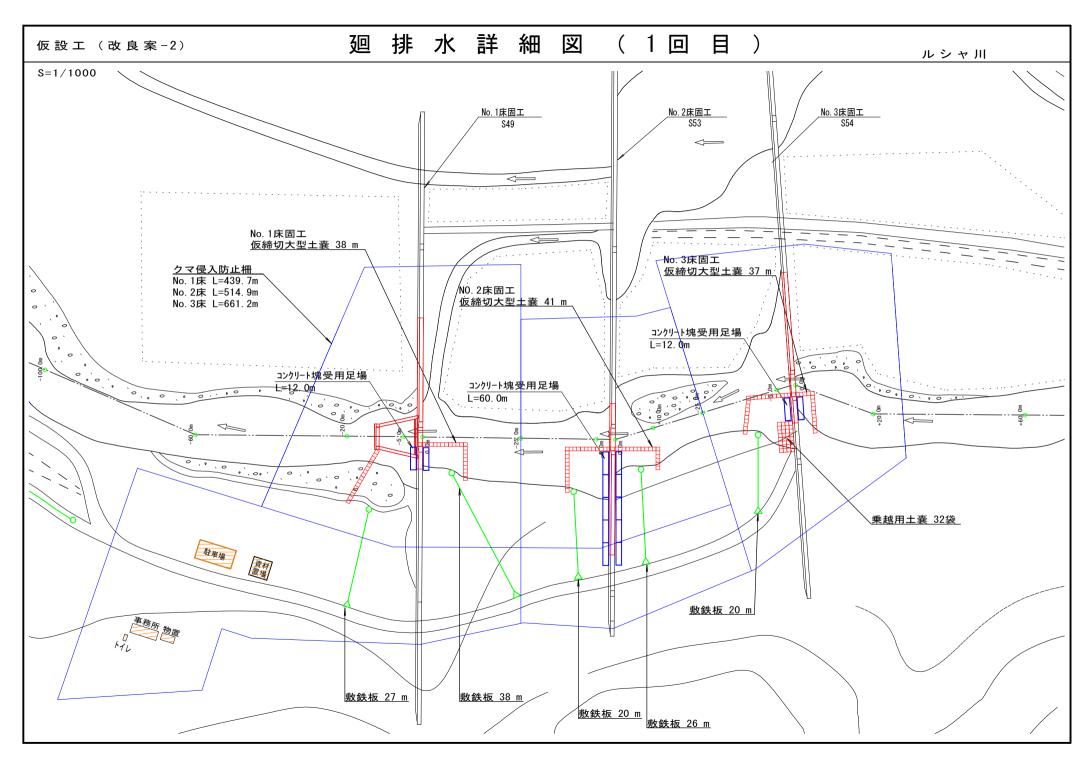


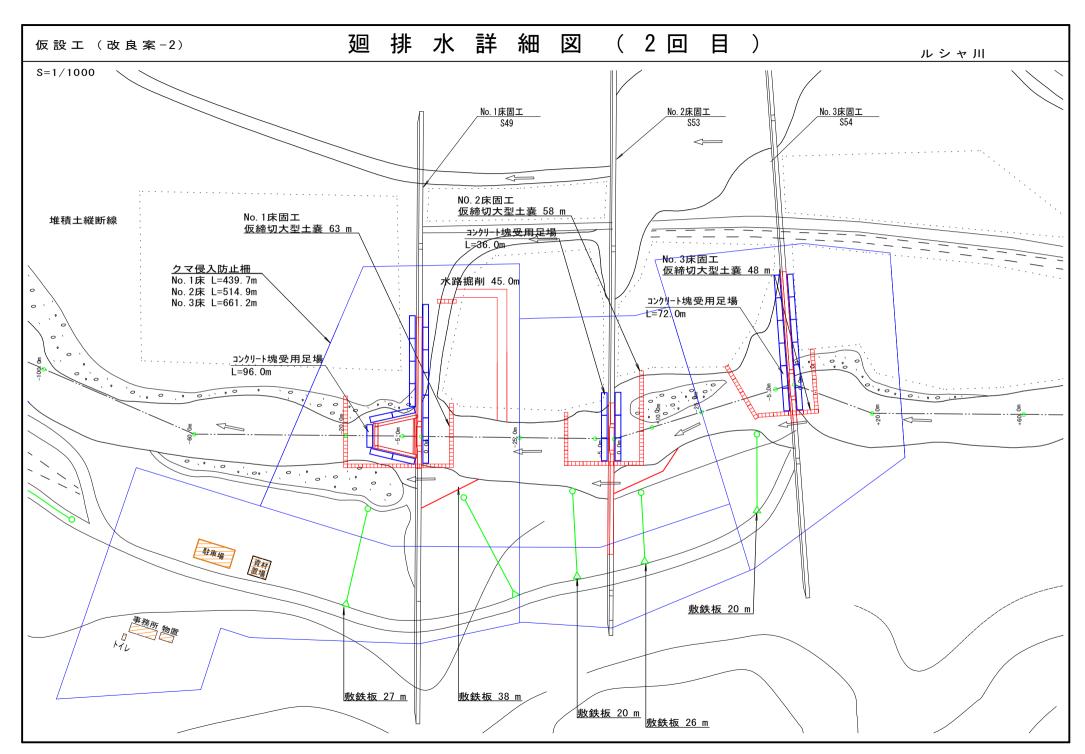














各床固工右岸側 既存の穴の状況



NO1床固工 右岸上流



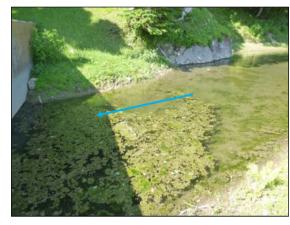
NO1床固工 右岸下流



NO2床固工 右岸上流



NO2床固工 右岸下流



NO3床固工 右岸上流



NO3床固工 右岸上流

No.1床固工



撮影年月日 H26.6.26

No.2床固工



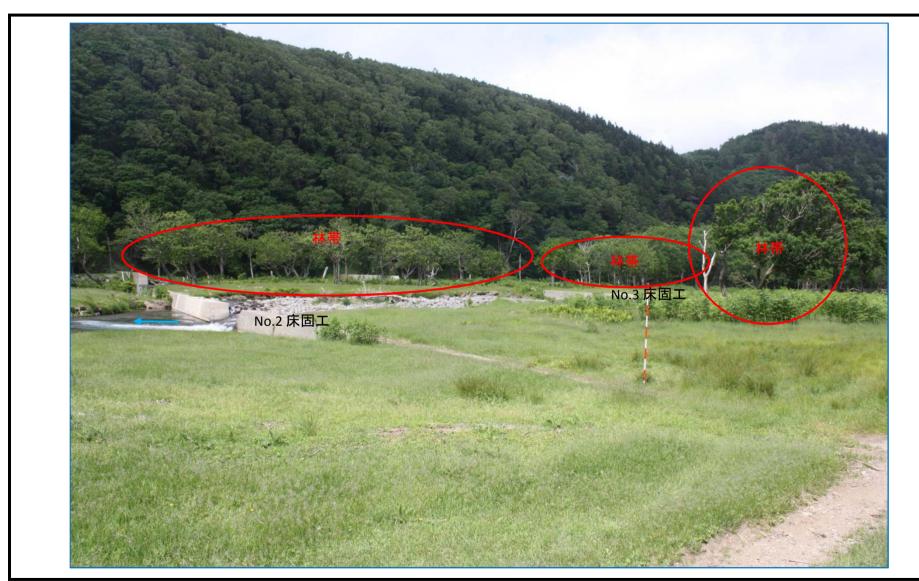
撮影年月日 H26.7.3

No.2床固工 右岸下流



撮影年月日 H26.6.26

No.2床固工



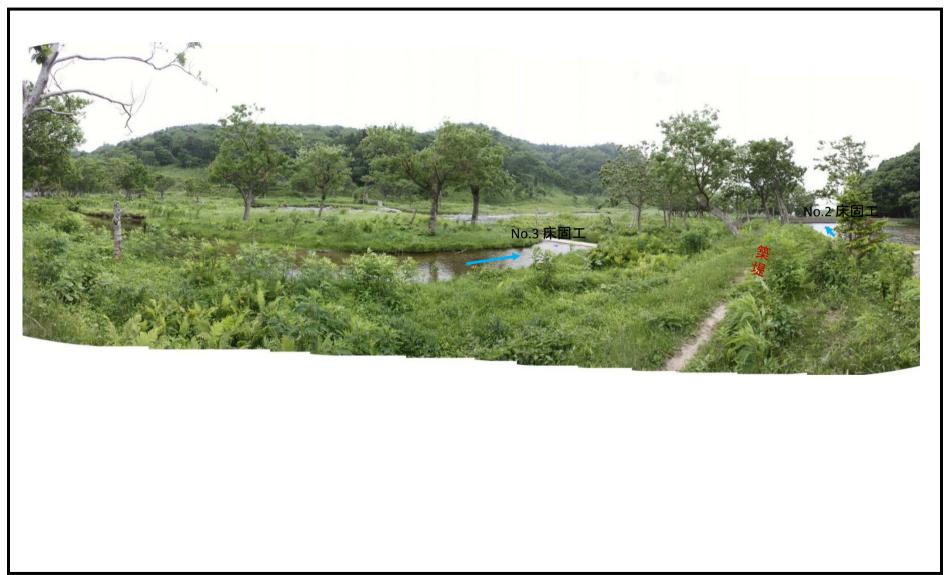
撮影年月日 H26.7.3

No.3床固工



撮影年月日 H26.7.3

No.3床固工_上流



撮影年月日 H26.7.3